

返品マットレスをペットベッドにアップサイクル

サイクラーズ、コアラがクラブウの支援受け共同開発



返品マットレスがペットベッドに生まれ変わった

サイクラーズ(東京都大田区)およびグループ会社のトライシクル(東京都品川区)と、オーストラリア発の寝具ブランド、コアラスリープジャパン(コアラ、東京都渋谷区)は、クラブウ(倉敷紡績、大阪市)の協力を得て、新製品「コアラペットベッド KUDDL E」を共同開発し発売した。コアラの売り上げの多くを占めるマットレスにおいては、「120日間トライアル」制度を設けられており、「試してみたら身体に合わない」などの理由で顧客が返品を希望する場合、購入後120日間以内であれば返金対応を行っている。当初は返品されたものは廃棄処分していたが、2021年から一部をリユース品として販売。さらに、廃棄処分されるものをアップサイクルする方法を模索し、今回のペットベッド販売に至った。

トライシクルでは、23年3月からコアラとサームをリユース品として再販売し、新品同様の快適さを提供してきた。一方、一部商品は再販売がでず、リサイクル品となることで課題となっていた。そこでコアラはサステナビリ

ティ活動の一環として、返品マットレスからペット用ベッドをアップサイクルするプロジェクトを発足。実現に向けてサイクラーズ経営企画部デザイン課と商品協議を重ねてきた。さらなる環境負荷低減を模索し、マテリアルリサイクルのスクリーンを検討しウレタンメーカであるクラブウのサポートを得た。

今回の商品化についてコアラの担当者は、「KUDDL Eは日本での展開がスタートした2017年からずっと実現させなかったプロジェクトだ。返品されたマットレスについては寄付や再販も行っているが、何か環境にやさしい形でアップサイクルする方法はないかと模索して、さまざまな企業等に提案を行ってきたが、なかなか実現しなかった。そんな時にC

Eを追求するサイクラーズグループと協業を開始。昨年からペットベッド制作に関する協議を始め、今回アップサイクルの新たな取り組みを実現させた」と話す。

ペットベッドのカバーにはコアラで不要となった未使用のマットレスカバーをアップサイクルしている。コアラの地球環境への強い思いを、サイクラーズのプロデュース力で形にしたサステナブルな製品として「コアラペットベッド KUDDL E」が誕生した。

白い座面の芯材には再生ウレタンを32%使用。クラブウが、返品マットレスから回収したウレタンをチップ化し再生した。座面をのせるベース面には滑り止めがついておりズレにくい構造となっている。カバー部分には未使用のデッドストック生地を使用しており、取り外してネットに入れて洗濯機洗も可能だ。寝心地の良さはそのままに、地球にもやさしいデザインとなった。

コアラと共にデザインを手がけたサイクラーズのデザイナーは、「日本でも多く飼われている中型犬や小型犬に合うようなサイズにし、コアラ製品は品質が高く寝心地が良

いものなので、その良さを生かしつつ、どうしたらペットも気持ちよく寝られるかを考えてデザインした」とする。

今後についてコアラは「まだ具体的に決まっていはいないが、継続していくことが大切なので引き続きサイクラーズ、クラブウと連携してC Eに向けた取り組みを進めていければ」としている。